

坂口地区でコウノトリ 3 羽が放鳥されました。（平成 30 年 9 月 26 日）

9 月 17 日（月曜日）坂口地区湯谷町で、国の特別天然記念物コウノトリ 3 羽が放鳥されました。

放鳥されたのは、今年誕生した 3 羽の幼鳥で J0203（メス）「こころちゃん」、J0204（オス）「りゅうくん」、J0205（メス）「ひかりちゃん」です。

放鳥式典は、坂口地区にある越前市エコビレッジ交流センター駐車場で行われ、福井県知事や越前市長などが挨拶を行いました。

式典が行われた後、福井県知事、越前市長、コウノトリの郷公園園長及び地元の子供たちなどの参加によりテープカットが行われ 3 羽は元気よく飛び立ちました。



式典であいさつをする奈良市長



放鳥箱から飛び出したコウノトリ（こころちゃん）

白山地区で飼育されているコウノトリ 3 羽の幼鳥の愛称及び放鳥について （平成 30 年 8 月 28 日）

平成 30 年 5 月 7 日から 10 日にかけて越前市白山地区で飼育されているコウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」の有精卵から誕生した 3 羽の幼鳥の愛称と放鳥が福井県により発表されました。放鳥は 9 月 17 日（月・祝）に、坂口地区のエコビレッジ交流センター付近で行われる予定です。

今年生まれた 3 羽の幼鳥の個体番号及び愛称は下記のとおりです。

- J0203（メス）：こころちゃん
- J0204（オス）：りゅうくん
- J0205（メス）：ひかりちゃん

【お問合せ】

福井県安全環境部 自然環境課 TEL:0776-20-0305, FAX:0776-20-0635,

Mail: shizen@pref.fukui.lg.jp

飼育コウノトリのヒナ1羽の死亡が確認されました。(平成 30 年 6 月 20 日)

平成30年6月20日、午前8時58分、今年5月に白山地区で飼育されているコウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」の間に誕生したヒナ4羽のうち1羽の死亡が確認されました。死亡原因は不明です。

福井県は今後、病理解剖を行う予定です。

その他3羽のヒナには異常は認められず、元気にしています。

飼育コウノトリの有精卵は4個全てふ化しました。(平成 30 年 5 月 10 日)

中野町で飼育されているコウノトリ「さっちゃん」が産卵した有精卵からヒナのふ化が確認されました。飼育中のコウノトリ「さっちゃん(メス)」は、4月4日から10日にかけて4個の卵を産卵しオスの「ふっくん」と温め続けていました。4月27日に検卵作業を行ったところ有精卵であることがわかり、ヒナのふ化が期待されていました。

ふ化の確認状況

- 1羽目：平成30年5月7日月曜日、午前10時38分確認。
- 2羽目：平成30年5月8日火曜日、午前8時39分確認。
- 3羽目：平成30年5月10日木曜日、午前8時37分確認。
- 4羽目：平成30年5月10日木曜日、午後1時06分確認。



1羽目のヒナの様子



2羽のヒナの様子(手前青色の目印が2羽目)



3羽のヒナの様子(一番手前の個体が3羽目)



4羽のヒナの様子(左手前の個体が4羽目)

【写真提供：すべて福井県】

白山地区で飼育されているコウノトリが産卵しました。(平成 30 年 4 月 4 日)

白山地区中野町で飼育されている 2 羽のコウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」は、平成 30 年 3 月に入り巣作りや交尾行動が認められていました。平成 30 年 4 月 4 日午前 11 時 30 分頃、飼育員が飼育ケージの中に入り、巣の中で卵一個を確認しました。

現在、「ふっくん」と「さっちゃん」は交代で卵を温め続けています。

今後、数日間に数個の卵が産まれる可能性があります。



卵と巣の中の様子（写真提供：福井県）

コウノトリの放鳥が行われました。(平成 29 年 10 月 10 日)

平成 29 年 5 月に白山地区で飼育中のコウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」に托卵され誕生した 2 羽のコウノトリ J0168「かけるくん」と J169「ほまれくん」の 2 羽が平成 29 年 10 月 8 日日曜日、安養寺町にて放鳥されました。この 2 羽は、昭和 45 年に白山・坂口地区に飛来したくちばしの折れたコウノトリ「武生（コウちゃん）」の孫にあたる個体です。

当日は晴天に恵まれ、福井県知事、越前市長、地元関係者や白山小学校及び坂口小学校の子どもたちがテープカットを行いました。2 羽は放鳥箱から元気よく越前市の空に放たれました。放鳥式典の後は、近くの田んぼにコウノトリの定着を祈って、餌のドジョウが地元の子どもたちによって放流されました。放流には福井県知事と越前市長が参加しました。



挨拶を行う市長



放鳥の様子



ドジョウの放流

飼育中のコウノトリのヒナ 1羽が死亡しました。(平成 29 年 5 月 23 日)

5月21日午後3時14分、白山地区で飼育されているコウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」が育雛中の3羽のヒナのうち1羽が死亡しました。

このヒナは5月10日に親鳥に托卵され、5月14日から16日にかけてふ化した個体のうちの1羽で、死亡の原因はわかっていません。

残る2羽のヒナには、現在のところ異常は認められていません。

5月16日コウノトリのヒナ3羽目のふ化を確認しました。 (平成 29 年 5 月 17 日)

5月11日に白山地区で飼育されているコウノトリ「ふっくん(オス)」と「さっちゃん(メス)」に托卵した3個の卵が全てふ化しました。

ふ化は、1個目が5月14日、2個目が5月15日そして3個目が5月16日のいずれも朝10:00頃、飼育員が飼育ケージ内に入り目視で確認しました。

現在、3羽のヒナはいずれも「ふっくん」と「さっちゃん」に餌をもらうなど元気に育っています。



5月14日にふ化した1羽目のヒナ
【写真提供：福井県】



5月15日にふ化した2羽のヒナ



5月16日にふ化した3羽のヒナ

コウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」への托卵が行われました。 (平成 29 年 5 月 11 日)

平成 29 年 5 月 10 日(水曜日)白山地区で飼育されているコウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」への托卵作業が行われました。

「さっちゃん」は4月16日から25日にかけて5個の卵を産みましたが、5月8日月曜日の検卵作業により全て無精卵であることがわかりました。

このため、兵庫県立コウノトリの郷公園から3個の有精卵を譲り受け、本日「ふっくん」と「さっちゃん」に托されました。

今回譲渡された有精卵は、昭和45年に白山・坂口地区に飛来し、地域住民により熱心な保護活動が行われたものの、衰弱の為、保護されたくちばしの折れたコウノトリ「武生」(こうちゃん)の娘の「紫」が産卵した卵です。

卵の発生が順調に進めば、来週中には孵化が予定されています。



巢に入れられた3個の卵
【写真提供：福井県】



托卵作業の様子

白山地区で飼育されているコウノトリ「さっちゃん」が産卵しました。 (平成29年4月17日)

平成29年4月25日（火曜日）中野町で飼育されているコウノトリ「さっちゃん（メス）」に第5卵目の産卵が確認されました。

「さっちゃん」は、平成29年4月16日に第1卵が確認され、その後平成29年4月18日、平成29年4月20日、平成29年4月22日に産卵が確認されています。「さっちゃん」はこれまでで5年連続産卵しています。コウノトリは通常、1日おきに2個から5個の卵を産卵します。尚、有精卵の判定は産卵後10日後に行います。



【写真提供：福井県】

コウノトリ「たからくん」と「さきちゃん」が放鳥されました。 (平成28年9月25日)

9月25日坂口地区湯谷町で、国の特別天然記念物コウノトリ2羽が放鳥されました。

放鳥されたのは、今年誕生した2羽の幼鳥でオス J0138（愛称：たからくん）とメスの J0139（愛称：さきちゃん）です。

放鳥式典は、坂口地区にある越前市エコビレッジ交流センター駐車場で行われ、福井県知事や越前市長などが挨拶を行いました。式典が行われた後、福井県知事、越前市長、コウノトリの郷公園園長及び地元の子供たちなどの参加によりテープカットが行われ「さきちゃん」

は元気よく箱から出て飛び立ちました。少し遅れて「たからくん」も箱から出て、しばらく辺りの様子をうかがった後、飛び立ちました。

2羽のコウノトリには位置情報を送信する装置がつけられており、行動が追跡できるようになっています。

放鳥終了後、コウノトリの定着を願って放鳥場所付近の休耕田ビオトープに坂口小学校と白山小学校児童がドジョウを放流しました。

本市でのコウノトリの放鳥は今年の10月3日土曜日に行われた、「げんきくん」と「ゆめちゃん」に引き続き2例目となります。



放鳥箱の扉が開いた瞬間、箱から勢いよく飛び出す「さきちゃん」



箱から出てしばらく周辺の様子をうかがう「たからくん」



奈良市長と共にドジョウの放流を行う地元の子供たち

今年誕生した2羽のコウノトリの名称と放鳥が決定しました。 (平成28年9月20日)

越前市白山地区中野町のコウノトリ飼育ケージで平成28年5月30日に托卵により誕生した2羽のコウノトリの名称及び放鳥が決定されました。

2羽の放鳥は、平成28年9月25日(日曜日)に越前市坂口地区で行われます。

本市におけるコウノトリの放鳥は昨年引き続き2度目です。

今年誕生した2羽のコウノトリ

1羽目



- 1 愛称名：「たからくん」
- 2 性別：オス
- 3 個体番号：J0138
- 4 足環の色：右肢上から黄黒，左肢上から赤青

2羽目



- 1 愛称名：「たからくん」
- 2 性別：オス
- 3 個体番号：J0138
- 4 足環の色：右肢上から黄黒，左肢上から赤青

5月27日に托卵されたコウノトリの卵から2羽の孵化が確認されました。 (平成28年5月30日)

5月25日に兵庫県豊岡市から移送され、27日に白山地区で飼育されているコウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」に托卵された有精卵3個のうち、2個がふ化しました。

1羽目の誕生は、5月30日(月曜日)9時52分、2羽目の誕生は、5月30日(月曜日)14時15分、それぞれ飼育員が飼育施設に入り、目視により確認しました。

今回のヒナ誕生は2014年6月以来2年ぶりとなります。

今後、残り1つの卵の孵化も期待されます。



1羽目の孵化を確認した時の巣の様子

【写真提供：福井県】



2羽目の孵化を確認した時の巣の様子

兵庫県豊岡市から3個の有精卵が移送されました。(平成28年5月25日)

平成28年5月25日(水曜日)、兵庫県豊岡市のコウノトリの郷公園から3個の有精卵が移送されました。

現在、有精卵は飼育施設内の孵卵機に入れられており、今後、「ふっくん」と「さっちゃん」の巣に托卵されます。

飼育されているコウノトリのうち、メスの「さっちゃん」は、4月6日から15日にかけて5個の卵を産卵しましたが4月28日に行われた有精卵か無精卵を見分ける検卵の結果、全てが無精卵であることが分かったため5個の卵を全て回収し、偽卵(木製の卵の形をしたもの)を抱かせていました。

白山地区で飼育されているコウノトリの産卵状況について (平成28年4月14日)

白山地区中野町で飼育されているコウノトリ「ふっくん」と「さっちゃん」のペアのうち、「さっちゃん」に産卵行動が確認されました。

4月6日水曜日に1個目の卵が確認されました。コウノトリの産卵は、ほぼ1日おきに行われます。

4月15日現在、巣の中には5個の卵が確認されています。

コウノトリの産卵を確認しました。(平成 28 年 4 月 6 日)

平成 28 年 4 月 6 日越前市白山地区中野町で飼育されているコウノトリ「さっちゃん」に産卵（1 個）が確認されました。

今年の初卵確認日は昨年より 6 日早くなりました。

現在「ふっくん」と「さっちゃん」が交代で卵を温めています。



巣の中の様子



産卵された卵

白山地区にてコウノトリ「げんきくん」と「ゆめちゃん」が放鳥されました。(平成 27 年 10 月 5 日)

10 月 3 日土曜日、白山地区菖蒲谷町で飼育されていた国の特別天然記念物コウノトリ 2 羽が放鳥されました。

放鳥されたのは、昨年誕生した 3 羽の幼鳥うち、オスの J0118（愛称：げんきくん）とメスの J0119（愛称：ゆめちゃん）です。

2 羽は今年 3 月から 9 月まで、兵庫県立コウノトリの郷公園で野生に戻るための訓練を受け、その結果が良好であったため放鳥されることとなりました。

放鳥式典は秋晴れの下、コウノトリ「武生（コウちゃん）」の像がある、白山小学校裏の駐車場で行われ、福井県知事や奈良市長などが挨拶を行いました。



式典であいさつを行う奈良市長



「コウちゃん」を愛する会からドジョウを手渡される地元の子供たち

式典や放鳥が行われた場所は、昭和 46 年に白山及び坂口地区に飛来した、くちばしの折れたコウノトリ「武生（こうちゃん）」が捕獲された付近です。

放鳥式典では、衰弱した「武生」を兵庫県豊岡市の飼育場へ送るため捕獲に携わった、林武雄氏と兵庫県豊岡市で「武生」の飼育に長年携わった、松島興治郎氏からコウノトリの水引が地元の子供たちに送られました。また、「武生」の飛来当時、餌のドジョウ集めや観察記録などをつけていた、白山小学校の児童及び教員 OB で結成されたコウちゃんを愛する会から、地元の子供たちにドジョウが引き渡されました。

式典終了後、福井県知事、奈良市長、山岸コウノトリの郷公園園長及び地元の子供たちなどの参加によりテープカットが行われ、最初にメスの J0119（ゆめちゃん）が箱から飛び出し、次にオスの J0118（げんきくん）が箱から出てきました。



放鳥の瞬間、箱から勢いよく飛び出す J0119（ゆめちゃん）



子どもたちとコウちゃんを愛する会によるドジョウの放流



10月4日に中野町に飛来した J0119（ゆめちゃん）

2羽は、大きな歓声につつまれるなか、会場周辺を何度も旋回していました。

2羽のコウノトリには位置情報を送信する装置がつけられており、行動が追跡できるようになっています。

放鳥終了後、コウノトリの定着を願って放鳥場所付近の水田に作られた水田退避溝に地元の子供たちと「コウちゃん」を愛する会がドジョウを放流しました。

44年前に、「武生」が保護され兵庫県に移送される時、地元の子供たちとの「必ず大空にコウノトリを返す。」という約束が果たされました。

2羽のうちメスの J0119（ゆめちゃん）は、放鳥後白山地区で目撃されており、10月4日は白山地区に滞在していました。